

令和 4 年度 窯業技術研究所事業報告

1 研究会とセミナーの開催（教育経費）

- ・ものづくり研究会の開催 別紙資料①
 - 「みんなで考える食器の未来」 参加人数：延べ 45 人 4 回
 - 講師：長谷川善一（元 岐阜県セラミックス研究所主任専門研究員）
江尻京子（多摩ニュータウン環境組合リサイクルセンター長）
 - 陶磁器を生産する町として、環境負荷の少ないものづくりや不用となった家庭用食器の回収について、市民参加型の研究会を開催した。
- ・陶磁器セミナー
 - 「深掘りしよう！釉薬の基本灰釉と鉄釉薬」 受講者 7 名 4 回
 - 講師：手島敦（岐阜県立多治見工業高等学校 教諭）
 - 釉薬の色と金属顔料の関係について、灰釉と鉄釉を基に調合や焼成の違い等について学んだ。
- ・産地の未来を考える公開セミナー/トークセッション
 - 「なぜ、あの産地には、後継者が誕生したのか？」 3/24 参加者 10 名
 - 講師：大牧圭吾（ニッポン手仕事図鑑編集長）

2 新分野開拓事業

- CAD 講座の開催 別紙資料②
 - 初級コース 2 月～3 月（6 回）3 社

3 伝統技術伝承事業

- ・技術講座の開催 別紙資料②
 - 染付け講座 5 月～6 月（8 回）9 名
 - 石膏講座 1 月～3 月（6 回）3 名

4 食器デザイン展開催事業

- ・第 27 回児童・生徒食器デザイン展 別紙資料③
 - 応募総数 1,922 点（小学校 1,620 点、中学校 302 点）
 - 131 点のお皿と原画を展示し表彰式を開催 11/5・6
 - 特賞 7 点を市のホームページに掲載
- ・市長賞のデザインを給食食器に採用

5 依頼試験・試作業務

市内の事業者を対象に使用料、手数料を50%減免（令和2年10/1～）

【市内事業者の減免利用実績】

	令和2年度 10/1 から減免	令和3年度 1年間減免	令和4年度 1年間減免
試験・試作	643点	998点	1,098点
設備使用	81回	102回	148回

6 学校教育事業、地域活動等の支援

別紙資料②

- ・瑞浪小学校 施設見学（6/24）3年生 120名
- ・土岐小学校 施設見学（10/20）3年生 55名
- ・日吉公民館の作陶支援
- ・日吉天神窯の焼成の支援

7 産業振興センター（指定管理者）との連携事業

* 瑞浪高校「インターンシップ」

2年生 3名 10/5, 6: 研究所、10/7: ちゃわん屋

* 瑞浪中学校「瑞浪の産業を知る学習」

1年生 120名 絵付け指導 7/5、施釉、窯詰め、焼成

* 瑞浪中学校「職場体験」

2年生 2名 10/25: 研究所、10/26: マスターズクラブ(株)

8 試験機関及び各協議会等との連携

- ・東濃四試験研究機関協議会

2/8 協議会

3/3 成果発表会（主催：名古屋工業大学、共催：四試協議会）

- ・岐阜県陶磁器デザイン協議会 7/21 理事会・定期総会
- ・グリーンライフ21プロジェクト 定例会、オンライン会議
- ・産業技術連携推進会議セラミック分科会

デザイン担当者会議 1/26, 27 信楽窯業技術試験場